



光受寺通信

H.23・5月1日

発行者 光受寺

「想定外」。今回の東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)に関わる報道関係等で頻繁に使われた言葉です。未来に起こりうることを想定し、その範囲までも限定して生きているのが私たちなのでしょう。そしてその範囲を超えた時、「まさか」「なんで」「私だけ」...そんな言葉が飛び交うのでしょうか。

しかし、未来の事など誰もわかるはずがないのです。何が起きても不思議でもなく、驚くことではないのです。「明日ありと思う心の仇桜 夜半に嵐の吹かぬものは」という聖人得度式の歌を思い出すことです。

私たちはこの震災を通して、ただ遠くから眺めて、「ああ、気の毒だなあ。それにしても**この辺りはそういうことがないから、ありがたいな**」などと、身勝手な思いに捉われてはおれないのです。未来に起こりうる私たち自身への警告でもあると思うからです。共にこの悲しみを心に刻み、私の人生を改めて考えてみる縁としなければ、ほんとうの意味での「明るい人生」はないと思うのです。

親鸞聖人七百五十回御遠忌に想う



去る三月二十一日、真宗本願で生まれた七百五十回 御遠忌に参列させていただきました。

式典の間厳肅な雰囲気にも包まれながら、「この大切な節目に際して、自分のあり方、寺のあり方など様々に思いめぐらさずひたすら心を頂きました。

かねて形骸化してしまった教団の改善には関心を寄せてきましたが、七百五十回忌の区切りにあたり、まず門徒の一人として、自身の姿勢を問うことからはじめなければと考えました。

今、一番問われているのは「真実信心」の目覚めであります。世俗的なおがみ信心・頼み信心の段階から、阿弥陀仏の誓願に示されている広大深遠な慈悲の心を静かにみつめ、その一端でも味わいとうとする真摯な求道の姿勢こそ切に求められるあり方であると思わずにはいられません。

われわれの良き先輩である、妙好人と言われる人たちは、ひたすら 聞法に努め、御仏の慈悲を見つめ、問い続けながら、数十年に及び熱心な求道の取り組みを通して、真実信心に目覚めていかれました。まさにわれわれがお手本とする方々です。

生涯一度のご遠忌を迎えさせて頂いた私どもは、この機会にこそ、まことの信心への目覚めを誓う時機であると思えます。漫然とした日常生活を改め、身のまわりに遍満している慈悲を鋭くとらえて、敬虔・感謝の念を篤くもった精神生活へ切り替えることが、宗祖親鸞聖人への「恩報じである」と考える次第です。

M・Mさん

のんのののさま ほとけさま



F・Mさん

♪ のんののののさまほとけさま
わたしの好きなあさまのお胸の
ようにやんわりとだかれてみたいほと
けさま。

♪♪ のんののののさまほとけさま
わたしの好きなとうさまのおての
ようにしっかりと すがってみたい
ほとけさま

♪♪♪ のんのののののさまほとけさま
みあかしあげておがむとき おすが
たみえてきらきらと ごこうのひか
るほとけさま

私の幼い頃 誰に教わったか定かではありませんが、心に残っている歌です。月に一回、一時間半の勉強会に出席して思い出した歌でもあります。一年半の間に何か変わったかと尋ねられても何も変わって無いかもかもしれませんが、年代の異なる方々との出会い、お話を伺っていると、人と人は縁(えにし)で結ばれている事、愛される人になりたければ、相手を愛すること、私の周りには必ず誰かに見守られている事など教えられたことがたくさんあります。「私の今はこれで本当によいか」と反省することはばかりですが、今後の毎日の生活に生かし自分自身、生かされていることに感謝し過ごしたいと願っています。

光受寺改修工事始まる。

平成 23 年 5 月 16日(月)～平成23年11月30日(水)

先月号でお知らせをいたしましたように、勧募状況はまだまだといったところですが、社会状況等を鑑みまして、予定より早めの工事着工となりました。皆様のより一層のご協力を得ながら着工へと進めていきたいと思えます。

尚、誠に勝手ではございますが、勧募に対しまして本年度中にご完納いただく予定のご門徒の皆さんは、できるだけ早めにご納入をいただけたなら、工事費支払い上とても助かりますのでよろしくご理解のほどお願いいたします。

また、まだご回答いただいていないご門徒の皆さんは、できるだけ早めにご回答をいただけますよう、改めてお願いを申し上げます。

合掌

工事に関わる行事の予定変更等

勉強会……………5月 第二土曜日(14日)は開催。以後本年中はお休み。

秋季永代経…中止。ただし特別永代経は日を改めて行います。

報恩講……………予定通り。

十日講……………12月に予定通り行います。

その他行事等今のところ、変更はありませんが、変更が生じましたら、改めて通信でお知らせをいたします。

通信記事募集

- 東日本大震災に関わること
- 私の健康法
- 我が家のペット紹介
- 旬の食べ物私の調理法
- 感動した本の紹介
- その他何でも結構です。

